

【 第24回 世界学生選手権大会（女子） 】

2018年7月30日～5日

開催国：クロアチア・都市：リエカ

試合結果報告 7月30日（月）

JPN(日本)	VS	CRO(クロアチア)
15	前半	8
16	後半	9
	第一延長	
	第二延長	
31	合計	17

個人得点

No.	名 前	得点
1	馬場 敦子	
3	北原 佑美	1
4	木村 有沙	2
5	近藤 万春	5
6	佐原 奈生子	1
7	谷 華花	1
10	永塚 梓	2
11	服部 沙紀	4
12	犀藤 菜穂	
13	初見 美椰子	6
15	堀川 真奈	
17	松本 ひかる	4
35	中山 佳穂	5
39	笠井 千香子	
	合計	31

戦評

2018年世界学生選手権大会のオープニングゲームは、日本対地元クロアチアとの一戦であった。試合開始時間が朝8時という、これまで体験したことがない時間帯でのゲームであったが、初戦が最も大事であるとのチームミーティングで確認した通り、日本は十分な準備で試合に臨んだ。

開始早々、日本は近藤のスピード感あふれる速攻で先制するが、相手も7mTですぐに追いつく。これに対して日本は、初見の獲得した7mTをクロアチアGKが好セーブ、続く日本のノーマークシュートも相手GKに連続セーブされリズムが掴めないまま、焦りが出始め、テクニカルミスも頻発した。その間クロアチアはNo.15のエースが得点を重ねて5-2とリードを広げる。日本は7人攻撃を展開するが、またしてもミスから簡単に失点してしまう。しかし、前半の中盤、近藤、服部の速攻を皮切りに、6連続得点をあげ一気に10-6と逆転に成功する。DFのリズムが良くなり始め、相手のミスからの速攻が出始め、15-8と大きくリードして前半を終えた。

後半開始早々、またもや近藤の速攻で日本が波に乗ると、この日好調の初見のカットイン、速攻などで一気に20-10と得点差を広げる。足の止まったクロアチアに反撃する勢いはなく、日本の左腕のエース中山が強烈なミドル、初見のポストなどで着実に加点し、終わってみれば31-17の大差で目標の初戦勝利を達成した。

報告記入者：

齊藤 慎太郎